

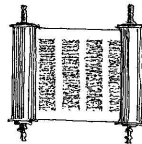
## 【聖書箇所 요약】

イエス様が弟子たちに語っている時、群衆の中から遺産相続の仲介を頼んだ人が現れました。イエス様はその願いを受け付けず、食欲の危険性と神の前に富む生き方を人々に教えられました。

## 1. 遺産分けの相談に来た人

### A. 突然入ってきた人

- (1) イエス様は弟子たちに語っていた (1節)
  - ・ 群衆は周りで聞いていた
- (2) 大事な話をしている真っ最中に割り込んできた人がいた
  - ・ ラビ (律法の教師) は争議の調停役もしていた



### B. 人格と非人格

- (1) 手っ取り早く自分の願望を満たそうとする人が求める対応
  - ・ 自動販売機 (非人格的対応)
- (2) 持ち物であふれかえる人生
  - ・ いのちのないものを集め続ける

### C. 神の拒否は神の愛の表れ

- (1) 非人格的対応を求めるパターンに終止符を打たせる
- (2) 人格を持った神とのいのちの出会い

## 2. 豊作の金持のたとえ話

### A. 人生が問題の連続と見える時

- (1) 豊作が祝福とは感じられなくなってしまう
- (2) 与えられたものをどう見るか



### B. 自分のものという意識

- (1) <sup>μ</sup>μου (「私の」の意) の多用  
「わたしの作物」「わたしの倉」「食糧」「自分の魂」
- (2) 強烈な所有者意識が判断を狂わせる

### C. いのちは神のもの

「すると神が彼に言われた、『愚かな者よ、あなたの魂は今夜のうちにも取り去られるであろう。そしたら、あなたが用意した物は、だれのものになるのか』。」 (20節)



### 3. 神に対して富む

#### A. たとえ話の効用

- (1) 全く新しい概念を理解させる助けとなる
- (2) 自分を客観的に理解できるようになる
- (3) 成長するに従って理解度が深まる

#### B. 「これと同じである」

- (1) イエス様の鋭い視線
- (2) 遺産分けの相談に来た人、金持、自分自身

#### C. 天に宝を積む

「自分の持ち物を売って、施しなさい。自分のために古びることのない財布をつくり、盗人も近寄らず、虫も食い破らない天に、尽きることのない宝をたくわえなさい。」 (33節)



今日の  
ポイント

持ち物は人のいのちを支えることはあっても保証はしません。今一度自分の所有者意識を探り、神のいのちを生きる毎日として参りましょう。

### — 祈禱会説教 —

イエスに出会った人々シリーズ (その15)

## 人のいのちと持ち物

- 13 群衆の中のひとりがイエスに言った、「先生、わたしの兄弟に、遺産を分けてくれるようにおっしゃってください」。
- 14 彼に言われた、「人よ、だれがわたしをあなたがたの裁判人または分配人に立てたのか」。
- 15 それから人々にむかって言われた、「あらゆる食欲に対してよくよく警戒しなさい。たといたくさんの物を持っていても、人のいのちは、持ち物にはよらないのである」。
- 16 そこで一つの譬を語られた、「ある金持の畑が豊作であった。
- 17 そこで彼は心の中で、『どうしようか、わたしの作物をしまっておく所がないのだが』と思いつめがらして
- 18 言った、『こうしよう。わたしの倉を取りこわし、もっと大きいのを建てて、そこに穀物や食糧を全部しまい込もう。
- 19 そして自分の魂に言おう。たましいよ、おまえには長年分の食糧がたくさんたくわえてある。さあ安心せよ、食べ、飲め、楽しめ』。
- 20 すると神が彼に言われた、『愚かな者よ、あなたの魂は今夜のうちにも取り去られるであろう。そしたら、あなたが用意した物は、だれのものになるのか』。
- 21 自分のために宝を積んで神に対して富まない者は、これと同じである」。(ルカによる福音書 第12章13節～21節)



2018  
2/14  
説教  
丸山 芳浩 師